

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

平成13年10月1日 第26報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	40		
(藍) <i>Chroococcus dispersus</i> *	10		
(藍) <i>Anabaena macrospora var. crassa</i> *	12		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	74		
(珪) <i>Gomphonema sp.</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	40		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	124		
(緑) <i>Planktosphaeria sp.(a)</i>	440		
(緑) <i>Cocystis solitaria</i>	80		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	350		
(緑) <i>Crucigenia irregularis</i>	8		
(緑) <i>Scenedesmus sp.</i>	40		
(藍) 藍藻綱	63	5.0	30.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	0.8	0.9
(珪) 珪藻綱	94	7.5	11.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	3.2	6.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1052	83.6	51.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1259	総体積	1.06E+06
種類数	15	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は 第1優占種 第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試測値に推定した概算値である。

## 動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体 / l)
甲 殻 類 <i>Bosmina longirostris</i>	20

第 2 優 占 種	個体数 (個体 / l)
輪 虫 類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	20

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

### 植物プランクトン第1優占種



*Planktosphaeria sp.*  
(プランクトスフェリア)  
緑藻綱

細胞は球形で寒天質の中にある。  
若い群体では細胞は密に集まり、古い  
群体では離れているのが特徴である。

### 動物プランクトン第1優占種



*Bosmina longirostris*  
(ゾウミジンコ)  
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い  
ためゾウミジンコと呼ばれている。

### コメント:

植物プランクトンはケラストルム カンブリウムが減少し、球形細胞をした緑藻である  
プランクトスフェリアが最も多くなった。動物プランクトンは少なかった。